



# 見守り活動NEWS！ <第5号「事例紹介」>

みなさまから、令和2年度中に『見守り活動において「こんなことがあった」事例を教えてください』とお願いしたところ、「白旗台地区部会」「松ヶ丘地区部会」「星久喜地区部会」「東千葉地区部会」「さつきが丘・宮野木地区部会」「301 地区部会」「小中台西地区部会」「白井地区部会」「加曽利地区部会」「結・みつわ台地区部会」「椎名地区部会」「稲毛海岸地区部会」「幕張西地区部会」様よりご紹介を頂きました。お忙しい中、ご協力いただき、誠にありがとうございます。

感謝されたこと、役に立ったこと、残念だったことまで、様々な悲喜こもごもの事例をご紹介いただきました。プライバシーの問題、担い手不足など課題も多いとは存じますが、少しでも皆様のご参考になればと思い、事例の一部を掲載させていただきます。

なお、個人情報保護の観点から、一部事実と違うもの、脚色しているもの、掲載を見送ったものがあります。何卒ご了承いただきますようお願い申し上げます。

令和3年6月 千葉市社会福祉協議会

## 事例1

見守り対象者	Aさん（女性・80歳代）
異常サイン	ヘルパーが訪問したが応答なし。
対応状況	警察、協力員が駆け付けてドアを開錠し入ったら対象者が転倒していた。
対応結果	救急搬送され入院することになった。

## 事例2

見守り対象者	Bさん（女性・80歳代）
異常サイン	対象者が毎週欠かさず頼んでいる生協の注文用紙が出ていない、チャイムを押ししても応答なし。
対応状況	協力員が電話や訪問しても応答がないので、警察や対象者の親族に電話連絡した。
対応結果	対象者の親族から折り返し電話があり、早朝から対象者と一緒に出掛けていたとのことで安否確認できた。



**事例 3**

見守り対象者	Cさん（女性・90歳代）
異常サイン	いつも閉まっている雨戸が夜間に閉まっておらず違和感があった。
対応状況	玄関ドアのドアチェーンを切断し居室に入ると対象者が転倒し動けなくなっているのを発見。親族に連絡したところ親族が駆け付けてくれた。
対応結果	親族宅で当分の間、過ごすことになった。

**事例 4**

見守り対象者	Dさん（女性・80歳代）
異常サイン	協力員が定期的に電話連絡していたが、体調不良を訴えていた。
対応状況	いつものように対象者に電話連絡したところ親族が電話に出てこれから本人を病院に連れて行くとのことだった。
対応結果	約1ヶ月後に協力員の元に対象者の親族が訪れ、対象者が亡くなったとの報告を受けた。「見守り活動で本当に長く母を支えてくれた」と感謝の言葉をいただいた。

**事例 5**

見守り対象者	Eさん（女性・80歳代）
異常サイン	定期訪問で対象者が友人から紹介された男性にコロナにより条件が合えば100万円給付金がもらえる、紹介料と代行手数料が50万円のところ特別に40万円にする等の話を持ち掛けられたと話していた。
対応状況	協力員が何度か訪問し、詐欺ではないか、手を引くべき等強く説得した。
対応結果	対象者は結局この誘いを断り、事なきを得た。

**事例 6**

見守り対象者	Fさん（男性・80歳代）
異常サイン	町内パトロールの訪問時にいつも声かけに応じる対象者から応答無く、普段移動で使っている自転車もそのまま置いてあった。
対応状況	定期的に親族やあんしんケアセンターが介入していた。
対応結果	協力員のパトロールから1日半後に対象者は自宅で亡くなっているところを親族に発見された。